

第21回BIZEN活動発信会 特別講演

名古屋大学, 岡山大学, 順天堂大学 連携

医療生成AI研究の倫理・ガバナンス

— ケースで理解するELSIと研究計画への落とし込み —

2026年 4月10日(金) 17:00 開始

岡山大学 鹿田会館講堂 (現地開催 + オンライン配信) | 講義 60分 + ケース紹介・質疑 60分

開催趣旨 — なぜ今、医療AIの倫理・ガバナンスか

医療分野で生成AIの活用が急速に進む一方、ハルシネーション（誤情報生成）、データの機密性・プライバシー、バイアス・公平性、責任分界など、倫理的・社会的リスクへの対応が研究推進の大きなボトルネックとなっています。

本講演では、これらの論点を「医療倫理・ガバナンス」の枠組みで再整理し、IRB審査や研究計画書の作成に直結する実践的知識を、ユースケースを交えて体系的に学びます。3大学の共通基盤づくりとして、生成AI研究を安全かつ円滑に推進するための第一歩です。

本講演は医療をケースとして扱いますが、生成AIのガバナンスは“個人情報・安全・説明責任”が求められるあらゆる業界（金融・自治体・教育・製造・人事等）で共通する設計課題です。医療の厳しい要件を起点に、他領域にも転用可能な実務フレームを提示します

データガバナンス | ハルシネーション対策 | バイアス・公平性 | 責任分界 | 患者・市民参画 (PPI)

ご略歴

大阪大学医学部卒業。4年間の臨床経験（初期研修、総合内科・内科救急）を経て、2017年より大阪大学大学院医学系研究科 医の倫理と公共政策学 博士課程に在籍。2021年より同分野助教。2025年より現職。主な研究テーマは、医学・ヘルスケア領域における情報通信技術、AI、ゲノム解析・編集技術などの先端技術に関するELSI（Ethical, Legal and Social Implications / Issues）およびそのガバナンス、ならびに患者・市民参画（PPI: Patient and Public Involvement）。

講演者

古結 敦士 先生

京都大学大学院 医学研究科
医療倫理学分野 講師



申込URL <https://forms.gle/Pf8MnARvnFTHprSC9>

申込期限 2026年 4月 7日(火)



主催 岡山大学 医療情報化診療支援技術開発講座
医学系研究支援プログラム (豊かな人生を育む多世代共生・健康社会を目指す医学研究者育成プログラム)

共催 岡山大学病院 新医療研究開発センター